



四月

パストラル尼崎

卯月

No.119.2022(R4)年3月25日

〔編集・発行〕

パストラル尼崎

尼崎市潮江1丁目10-2

Tel.06-6493-0521

Fax.06-6493-0301

発行責任者：峰田 康弘

◆4月の歳時記◆

「四月十日は駅弁の日」

旅の想い出、駅弁が誕生したのは明治10年の梅田駅、神戸駅、18年の宇都宮駅など諸説ありますが、当時売られていた駅弁は、「握り飯と漬物」というお粗末なもの。汗 今のような豪華な駅弁が登場したのは、なんと明治22年の「姫路駅」だったそうです。



元祖である「まねき食品」の竹田氏によると、明治21年に山陽鉄道の姫路駅と兵庫駅とが結ばれたのを機に、初代の竹田木八が駅弁事業を開始。初代の奥さんが姫路一大きな料亭の娘ということもあり、料亭の宴会後に持ち帰るような経木に入れた立派な弁当を作ったそう。その「幕の内弁当」たるや、鯛塩焼、伊達巻、焼蒲鉾、玉子焼き、大豆昆布佃煮、牛蒡、落、百合根、筍、人参、空豆、きんとん、奈良漬、梅干しの入った上折、白米の入った下折の二重の折り詰めという豪華版。内容だけでなく値段も料亭仕立て。汗 話題にはなったものの高価すぎたため売れず倒産の危機に。ところがその後、日清戦争が起き状況が一変します。「軍都だった姫路で、多くの軍人が広島に向かい、駅弁需要が一気に高まりました。それで盛り返したんです。」(竹田氏)これから戦場に向かおうという列車の中で、兵士たちが食べた姫路駅の駅弁。切ないですね。泣

同社はこれまで何度か、元祖幕の内を再現しています。「揚げ物はなく、味のごまかしがきかない煮物、焼き物ばかりでしょう。素材の良さと料理人の腕が問われる品です。さすがに料亭だと感じました。でも今の時代、喜んでくれるのは健康に気をつける女性くらいですね。」と竹田氏。

同社の駅弁販売のピークは、大阪万博が開かれた昭和45年。その2年後に山陽新幹線が岡山まで開通すると、売り上げは一気に落ち、代わりにデパートなどの催事での販売が重要に。ただし催事では、牛肉や魚介類などの名産品を前面に出した弁当が人気を博します。「うちも『あなごめし』や『牛めし弁当』がよく売れますが、軸はやっぱり幕の内。目立つ事はないけど、毎日食べてもいいと思える存在を目指しています。」(竹田氏)幕の内駅弁にとって苦境が続きますが、元祖老舗は、兵庫県の食材にこだわるおかずで勝負を続けています。

ワシントンに咲く伊丹の「桜」

アメリカ・ワシントンにあるポトマック河畔の見事な桜並木は、実は明治時代に日本から贈られたもので、それも伊丹市にルーツがあるそうです。

明治42年、当時の東京市長より二千本の桜がアメリカに寄贈されました。しかし桜に害虫が大発生し、焼却処分になってしまいます。次は害虫に強い桜を贈ろうと、「接木(つぎき)」の方法で丈夫な苗木を育てる計画が立てられ、当時、台木(接木の台にする木)づくりで高い園芸技術を持つ、伊丹東野村に白羽の矢がたちます。丈夫な台木に接ぎ木された苗木約六千本は、明治45年、横浜港から出港され、無事アメリカに到着。河畔に並ぶ日米親善の桜の木は、その後も多くの人々によって守られ、今も美しい花を咲かせています。毎年ポトマック公園で行われる「桜まつり」は大統領夫人による植樹式など、今ではなくてはならない春の一大イベントとなっているのだとか。その後、大正4年にはアメリカから感謝のしるしとして、花言葉が「返礼」というハナミズキが。また桜が贈られてから90周年を記念して2003年にはワシントンの桜の子孫樹が日本に贈られ、その「里帰り桜」は伊丹市の瑞ヶ池公園に植樹されているそうです。



電報:「サクラ サク」

昭和31年頃、地方の学生の為に早稲田大学が行った「合格電報」。合格ならば「サクラサク (桜咲く)」、不合格ならば「サクラチル (桜散る)」というのが電報の文句として使われたそうです。この事が他大学へ広まり、後には大学によって特色のある文句が生まれました。

御茶ノ水女子大の合格文は、オチャ カオル (お茶 香る)、静岡大学の合格文は、フジサンチョウ セイクス (富士山頂 征服す)、東京商船大学では合格は、トラトラトラ、不合格は、チンボツ (沈没)、三重大学は、イセエビ タイリョウ (伊勢海老 大漁)、奈良教育大学の合格は、ダイブツ ヨロコブ (大仏 喜ぶ)、不合格はダイブツノメニナミダ サイキコウ (大仏の目に涙 再起乞う) 大阪大学歯学部は合格、ニューシハエル (乳歯 生える)、高知大学の合格は、クジラガ ツレタ (鯨が 釣れた) 不合格はクジラ シオフク (鯨 潮吹く) などご当地にちなんだ文句があったり、血も涙もない不合格文句や、優しすぎて逆にツライ文句まであり、当事者でないのをいい事にプツと、吹いてしまいました。笑